

※最初の質問から一問一答方式を選択

一般質問通告表

令和5年第1回沖縄県議会(定例会)

02月28日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
1	20分	座波 一(沖縄・自民党)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 知事の政治姿勢について</p> <p>(1) 持続可能な平和について</p> <p>ア 平和の定義について知事の考えを伺う。</p> <p>イ 憲法に対する評価と防衛力及び抑止力の必要性を伺う。</p> <p>ウ 知事が考える地域平和外交と国の外交方針の整合性について伺う。</p> <p>エ 地方公共団体における地域外交の役割と必要性及び適法性を伺う。</p> <p>(2) ヘイト条例案における沖縄県民に対するヘイト問題について</p> <p>ア 県内のヘイトスピーチの現状と問題の本質を知事に伺う。</p> <p>イ 沖縄ヘイトとされるSNS上のコメントに知事の思いを伺う。</p> <p>ウ 同条例案による県外への実効性と逆効果の危険性について伺う。</p> <p>(3) 沖縄振興予算外の予算確保について</p> <p>ア 減額が続く沖振予算で補えない各省庁関連事業予算の確保の必要性を伺う。</p> <p>イ 公約実現は沖振予算で可能か、今後各省庁へ予算要請行動を取るのか伺う。</p> <p>(4) 自主財源の確保と強化に向けた行政運営プログラムについて</p> <p>ア 遊休公有資産の処分・利活用の一元的な運営プログラムの必要性を伺う。</p> <p>イ 自主財源の確保と強化の努力と成果を県民や国に示すべきではないか伺う。</p> <p>(5) ポストコロナにおける県内企業の危機対策について</p> <p>ア コロナ関連融資の公的資金の返済が今年5月から始まるが、県内中小零細企業や観光関連業等の復興はまだ不十分で、返済不能や事業存続さえ危惧される。県のリーダーシップによる前例のないレベルの対策が急務だが知事に伺う。</p> <p>2 エネルギー政策と地下資源の活用事業について</p> <p>(1) 沖縄県クリーンエネルギー・イニシアティブの重点プロジェクトである水溶性天然ガス導入拡大への取組と進捗について</p> <p>ア 平成24～26年に実施された試掘調査の既存井戸の利活用がなぜ進まないか伺う。</p> <p>イ 県が国に申請した採掘出願に対し国から補充命令が1月31日に発出され、事業化が遅れている。補充命令に対する県の取組と事業遂行への責務を伺う。</p> <p>3 沖縄県の不公正なごみ処理行政の是正について</p> <p>(1) 令和4年3月の土木環境委員会で、県は「市町村に一般廃棄物最終処分場の整備義務はない」と明言したが、現在もそのとおりであればその法的根拠の明示を求める。</p> <p>(2) 廃掃法に沿って整備し、または計画する市町村にとって整備の根拠を失い整備義務を放棄させることになるが、不公正な行政手法を是正すべきではないか伺う。</p> <p>4 我が党の代表質問との関連について</p>			

一般質問通告表

令和5年第1回沖縄県議会(定例会)

02月28日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
2	20分	新垣 新(沖縄・自民党)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 物価高騰について</p> <p>(1) 今年4月から沖縄電力が電気代を39%値上げすることにより、今よりさらに県民の生活が苦しくなる状況を迎えますが、県民に対する救済支援策はあるのか、見解を求めます。</p> <p>(2) 食料等や原油等が依然高騰している現実ではありますが、県民と関係団体等に対する救済策と支援について、見解を求めます。</p> <p>2 DX社会の推進について</p> <p>(1) 生産性の向上は、県民所得の向上の重要なファクターであり、県内製造業等では、生産性向上を目的とした、ロボットや省人化機器導入の必要性が工業連合会を中心に議論されていると聞いている。こうした業界の動きを県として支援する必要があると思うが、県の見解を伺う。</p> <p>(2) 1月は県内の中学・高校・高専の学生が、それぞれロボットに関する全国大会で入賞等の快挙を成し遂げたというニュースが新聞を賑わせた。有識者からは沖縄の学生は県外と比べても優秀であると聞いており、こういった大会等を通じて子供たちの才能を伸ばすことを、次世代産業育成とその先の県民所得の向上の観点からも、県として支援する必要があると思うが、県の見解を伺う。</p> <p>(3) 糸満市では、「糸満でじたる女子プロジェクト」として、リスキリング(学び直し)に取り組んでおり、その成果は先日のNHK「クローズアップ現代」でも全国で紹介され、リスキリングは沖縄県の「県所得向上応援企業認証制度」のシンポジウムでも話題に上がっていた。また、政府も個人のリスキリングの支援に5年で1兆円を投じると表明しており、こうした県民所得の向上を目指したリスキリングに対する社会の動きを、県として支援する必要があると思うが、県の見解を伺う。</p> <p>3 糸満市潮平における県道82号線の大雨冠水時の改善について、進捗状況をお伺いします。</p> <p>4 県道77号線・平和の道の進捗状況について</p> <p>5 県は沖縄県漁業協同組合と共に海洋深層水導入に向けての基本構想に取り組むべきだと考えますが、見解を求めます。</p> <p>6 スポーツアイランド構想について、ボールパークを導入すべきだと考えますが、知事の見解を求めます。</p> <p>7 真栄里地区海岸保全区域の護岸整備の進捗状況について、見解を求めます。</p> <p>8 待機児童解消のための保育士宿舎借り上げ支援事業の進捗状況についてお伺いします。</p> <p>9 我が党の代表質問との関連について</p>			

一般質問通告表

令和5年第1回沖縄県議会(定例会)

02月28日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
3	20分	中川 京貴(沖縄・自民党)	知事 関係部長等

質 問 要 旨

1 知事の政治姿勢について

- (1) 令和5年2月定例会における知事の所信表明は、県政運営における知事の基本方針を県民の代表である県議会議員に述べるほか、県民へ知事が自らの政治姿勢を示すものか伺いたい。
- (2) 嘉手納基地・普天間基地における米軍機の騒音、環境被害について
 - ア 嘉手納基地への外来機による騒音被害について伺う。
 - イ 三連協(嘉手納町・北谷町・沖縄市)による嘉手納基地騒音被害の要請について県の対応を伺う。
- (3) 伊平屋空港建設について、調査の進捗状況と具体的な建設に向けた取組を伺いたい。
- (4) 伊平屋・伊是名架橋の整備について県は、その必要性をどのように認識しているか取組の現状を伺いたい。
- (5) 伊江島空港の利活用について、県の見解を伺いたい。
- (6) 沖縄県は、全国的に観光先進地として知られており、沖縄の観光再興の取組は全国的に注目されている。県内移動、県外誘客、水際対策を含め、今後県は、観光再興について、どのようなビジョンを描いているのか伺いたい。
- (7) 県は、本県への観光客数増をハワイとの比較で評価しているが、観光客の滞在日数では大きな開きがあり、滞在日数の延伸の取組も効果を上げていない。数で比較するのではなく、質的な転換を図るべきだと思いますが見解を伺いたい。
- (8) 玉城知事の2期目の公約である給食費無償化の財源確保と実施時期について伺う。

2 県内社会資本の整備について

- (1) 社会資本整備を進めるに当たって、県土の有効利用と自然景観・保全の調和を図りながら鉄軌道を含めた陸上交通網体系を構築する必要があるが、現在の進捗状況と県の基本的な考えを伺いたい。「那覇市、浦添市、西原町においては、モノレールや鉄軌道、LRT(次世代型路面電車システム)の必要性について」
- (2) 大型MICE施設の実現に向けた西原町へのモノレールを含む公共交通システムについて伺う。
- (3) 戦前、嘉手納町では、南部から嘉手納ロータリーまで軽便鉄道路線がありました。第二次世界大戦時に鉄道・比謝橋も破壊されました。国道58号の比謝橋においては復元されましたが、軽便鉄道においては復元されておりません。私は、沖縄県の振興の一つとして西回りは那覇市から浦添市・宜野湾市・北谷町・嘉手納町・読谷村・名護市と、東回りは南部から西原町・中城村・北中城村・沖縄市・名護市・北部まで1時間で着く鉄軌道を通すことが将来の観光立県に向けた沖縄振興策になると、これまでの一般質問・代表質問で取り上げてまいりましたが県の見解を伺いたい。
- (4) 那覇港、中城湾港及び本部港等の機能強化を図る上で、それぞれの役割をどのように分散しているか。港湾総合物流の中核機能の位置づけについて伺いたい。
- (5) 西原町2級河川小波津川改修工事の現状と課題、進捗状況、完成時期、総予算について
 - ア これまでも幾度となく氾濫を繰り返した小波津川が周辺地域の住民に多大な損害を与えております。管理者としての県の対応と責任について伺う。
 - イ これまでの改修工事が完了することによって氾濫は防げると以前説明を受けましたが、大幅な工事の遅れが地域にとって被害拡大につながっているとすれば、県の見解を

- 何う。
- ウ 河川改修工事において人道橋の設置について地域の声が反映されないのはなぜか。
(小波津川周辺が西原町の景観条例に制定されている。)
- (6) 北谷町白比川河川拡張工事の進捗状況及び完了時期、総予算について何う。
- (7) 比謝川の河川環境整備について
ア 比謝川下流堰の撤去について何う。
- (8) 那覇軍港(那覇港湾施設)の市街化について
ア 那覇軍港は復帰前、現在の那覇空港や航空自衛隊那覇基地、陸上自衛隊那覇駐屯地と軍港が「同じ一団の基地」でしたが、那覇空港や航空自衛隊那覇基地、陸上自衛隊那覇駐屯地は市街化調整区域で那覇軍港だけ市街化区域・準工業地域と仮定している状態について県の認識を伺いたい。
イ 那覇軍港の市街化区域・準工業地域指定によって固定資産税に影響した問題は、県が那覇市と話し合いをして那覇軍港地主の要請に応えるように平成28年2月、平成29年6月の一般質問で取り上げたが、その後の取組について伺いたい。
- (9) 物価高騰に対する県民への支援について
ア 電気料金値上げへの支援対策について何う。
イ 電照菊等花卉農家への電気料金の影響と支援対策について何う。
- 3 犬・猫殺処分ゼロについて
- (1) 令和5年度に向け、犬・猫殺処分をゼロにするための課題と今後の取組、目標、数値を伺いたい。
- (2) 動物愛護センターとボランティア、愛護団体との協力体制の強化について伺いたい。
- (3) 各メディアを駆使した飼い主に対する啓発活動について伺いたい。
- (4) 違反ブリーダー、ペットショップの取締りについて伺いたい。
- (5) 犬・猫殺処分ゼロを目指し、私が提案した南部・中部・北部・離島等、市町村と連携したシェルター設置についての現状と課題について伺いたい。
- (6) 各小中学校で動物愛護への認識を高め、講演会やふれあい教室を開き、動物はオモチャではない、動物愛護の普及・啓発に向け犬・猫殺処分ゼロに取り組むことを提案しましたが、教育長の見解と今後の取組について何う。
- (7) 犬に対する狂犬病ワクチンの予防接種状況について何う。
- 4 我が党の代表質問との関連について

※最初の質問から一問一答方式を選択

一般質問通告表

令和5年第1回沖縄県議会(定例会)

02月28日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
4	20分	西銘 啓史郎(沖縄・自民党)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 知事の政治姿勢について</p> <p>(1) 所信表明(知事提案説明要旨)について</p> <p>ア 所信表明策定に当たり、知事本人として、どの部分に、どのように強い思いを込め、また何を変えたのか伺う。</p> <p>イ 「県政運営に取り組む決意」や「沖縄を取り巻く現状の認識」等これまでと、どのような違いがあるか伺う。</p> <p>ウ 重点的に取り組む3つの大項目とは何か、また令和5年度一般会計当初予算の施策概要との関連について伺う。</p> <p>エ 施策概要の「重要政策と推進施策」の定義と位置づけ・違いについて伺う。</p> <p>(2) 安全保障に関して</p> <p>ア 安保関連3文書(国家安全保障戦略・国家防衛戦略・防衛力整備計画)について知事の認識と見解を伺う。</p> <p>イ 「国家安全保障戦略」策定の趣旨と「我が国が守り、発展させるべき国益」とは何か、及び総合的な国力(外交力・防衛力・経済力・技術力・情報力)について県の認識と見解を伺う。</p> <p>ウ 米中の戦力(1999年時点、2020年時点、2025年予測)の比較について概要を伺う。</p> <p>(3) 国民保護計画について</p> <p>ア 3月実施予定の国民保護計画図上訓練に関する準備状況等について伺う。</p> <p>イ 南西地域産業活性化センター(NIAC)が2022年12月に発行した「国民保護法における住民及び来訪者の避難想定」報告書について、その概要と県の見解を伺う。</p> <p>2 総務部関連について</p> <p>(1) 令和5年度組織・定数編成について</p> <p>ア 基本的な考え方(定数と定員の定義等)について伺う。</p> <p>イ 主な改編内容とその理由について伺う。</p> <p>ウ 新設組織の設置目的と役割について伺う。</p> <p>3 文化観光スポーツ関連について</p> <p>(1) 昨年12月4日那覇空港で発生したドローンの飛行による航空機への影響実態(嘉手納基地への避難着陸等)と今後の課題と対応について伺う。</p> <p>(2) Japan Winter Leagueについて概要と県の支援内容を伺う。</p> <p>(3) 長野県との協定締結について概要と今後の対応を伺う。</p> <p>(4) 宮古島サステイナブルツーリズム連絡会が発表した「持続的観光への統一ルール」の概要と県の見解を伺う。</p> <p>4 県警関連について</p> <p>(1) 水上安全条例改定後の現状と課題について伺う。</p> <p>(2) SDO認証制度の今後の方向性について伺う。</p> <p>(3) 交通渋滞の現状と緩和策について伺う。</p> <p>5 我が党の代表質問との関連について</p>			

※最初の質問から一問一答方式を選択

一般質問通告表

令和5年第1回沖縄県議会(定例会)

02月28日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
5	20分	花城 大輔(沖縄・自民党)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 知事の政治姿勢について</p> <p>(1) 知事提案説明について伺います。</p> <p>ア どのような思いを込めて読み上げたのか。</p> <p>イ 次の50年に向けてどのような沖縄を目指すのか。</p> <p>(2) 地域外交室について伺います。</p> <p>ア 具体的な活動内容は何か。</p> <p>イ どのような人材が責任者としてふさわしいか。</p> <p>(3) 3月実施予定の国民保護図上訓練について伺います。</p> <p>ア 実施の目的と期待される成果について</p> <p>イ 住民保護が必要とされる状況をどのように想定しているか。</p> <p>ウ 危機管理監設置との関連について</p> <p>(4) 重要土地等調査法について</p> <p>ア 県内において外国人の土地取得の状況は。</p> <p>イ この法律をどのように評価するか。</p> <p>(5) FIBAワールドカップ開催について伺います。</p> <p>ア 開催地負担金について</p> <p>イ 今後の県・沖縄市・近隣市町村の役割について</p> <p>2 令和5年度予算について</p> <p>(1) 令和5年度予算の特徴について伺います。</p> <p>3 海底資源開発について</p> <p>(1) 現在の実施状況について伺います。</p> <p>4 我が党の代表質問との関連について</p>			

一般質問通告表

令和5年第1回沖縄県議会(定例会)

02月28日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
6	20分	末松 文信(沖縄・自民党)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 知事の政治姿勢について</p> <p>(1) 米軍基地問題について</p> <p>ア 在沖米軍基地は、在日米軍専用面積の約70.3%が集中し応分の負担にはほど遠いとしているが、応分の負担とは何%か伺う。</p> <p>イ 「当面は在日米軍専用施設面積の50%以下を目指すとする具体的な数値目標の設定と実現を求めた」とあるが、県の具体案はあるか伺う。</p> <p>ウ 沖縄の基地負担の軽減は、米軍と自衛隊を併せて検討とあるが、共同使用を含む考えか伺う。</p> <p>(2) 辺野古埋立設計変更不承認に係る抗告訴訟について、3月16日に判決が言い渡される予定とのことですが、判決への対応を伺う。</p> <p>2 保健医療関連について</p> <p>(1) 北部医療センターの整備について、地域住民説明会を開催しておりますが、課題と対応策を伺う。</p> <p>(2) 薬学部の設置について、令和10年開学を目指しているようですが、取組状況を伺う。</p> <p>(3) 県立病院の管理運営について</p> <p>ア 各病院の医師、看護師ほか医療スタッフの充足状況を伺う。</p> <p>イ 各病院の医療機器等の充足状況を伺う。</p> <p>ウ 各病院の経営状況(収支)を伺う。</p> <p>(4) 伊平屋、伊是名村の診療所及び宿舍等の移転整備の取組状況を伺う。</p> <p>3 農林水産業の振興について</p> <p>(1) 名護食肉センターの移転整備に向けた取組状況を伺う。</p> <p>(2) 北部GPセンターの統合計画の現状を伺う。</p> <p>4 学校教育について</p> <p>(1) 県立名護高等学校附属桜中学校の開校について</p> <p>ア 北部、中部、南部、他地域別入学者数を伺う。</p> <p>(2) 名護商工高等学校へ建築設備系学科の設置について伺う。</p> <p>5 名護・那覇間の鉄軌道導入に向けた取組状況を伺う。</p> <p>6 伊是名・伊平屋架橋の整備促進に向けた取組状況を伺う。</p> <p>7 伊平屋空港整備に向けた取組状況を伺う。</p> <p>8 我が党の代表質問との関連について</p>			

※最初の質問から一問一答方式を選択

一般質問通告表

令和5年第1回沖縄県議会(定例会)

02月28日(火)

順位	時間	氏名(党派)	答弁を求める者
7	20分	呉屋 宏(沖縄・自民党)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 国立自然史博物館誘致について</p> <p>(1) 今年1月、米国ワシントンDCにあるスミソニアン自然史博物館の視察を行ったが、照屋副知事の感想を伺う。</p> <p>(2) 「北九州市立自然史・歴史博物館」が2002年に造られましたが、その設立経緯を調査しましたか。</p> <p>(3) 国立自然史博物館誘致のための予算は幾らになったか。</p> <p>(4) 前議会で答えなかった誘致活動のタイムスケジュールを再度伺う。</p> <p>(5) 誘致活動に向けた県庁内の組織再編は行ったのか伺う。</p> <p>2 防災ヘリについて</p> <p>(1) 進捗状況を伺う。</p> <p>(2) 防災ヘリがスタートするのはいつか。</p> <p>(3) 防災ヘリの拠点はどこに設置するか。</p> <p>(4) 防災ヘリと41市町村の関係について伺う。</p> <p>(5) 防災ヘリの訓練所は全国に無く、本県に設置の予定はあるか。</p> <p>3 教育問題について</p> <p>(1) 義務教育の現場は順調か。</p> <p>(2) 教育現場に休職者が多いと聞くが、小・中・高校の数字を伺う。</p> <p>(3) 休職している職員の原因はどこにあると考えているか。</p> <p>(4) 今後の対策について伺う。</p> <p>(5) 復帰50年、教育の大改革は必要ないか。</p> <p>4 交通渋滞について</p> <p>(1) 前回質問した信号機の調整会議は行ったのか。</p> <p>5 我が党の代表質問との関連について</p>			

※最初の質問から一問一答方式を選択

一般質問通告表

令和5年第1回沖縄県議会(定例会)

02月28日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
8	20分	照屋 守之(無所属)	知事 関係部長等

質問要旨

- 1 国の沖縄振興予算と県の一般会計当初予算について
 - (1) 令和4年度及び令和5年度に沖縄県から要求した沖縄振興予算額と獲得した予算額を伺う。
 - (2) 令和4年度及び令和5年度の沖縄県一般会計当初予算を伺う。
 - (3) 沖縄特例の一括交付金を含めて要求額を獲得するためには、どうすればよいか伺う。
 - (4) 大型MICE施設・鉄軌道等の事業をつくり、一括交付金等を獲得する方法もあると思う。玉城知事の見解を問う。
- 2 玉城県政の問題解決について
 - (1) 1期4年間の成果を踏まえ、2期目の課題解決に向けて玉城知事の決意を伺う。
 - (2) 基地の整理縮小・経済振興・安全保障等問題解決に向けて国政との連携は不可欠である。相互の立場を理解し合い、対立から対話・協議によって方向性をつくっていくことが、今、求められていると思う。玉城知事の見解を問う。
 - (3) 大田革新県政、稲嶺・仲井眞保守県政、翁長オール沖縄県政といずれの県政でも共通しているのは、沖縄県知事はしたたかであったことだと思う。玉城県政でしたたかさを発揮できるのは副知事の役割だと思う。玉城知事の見解を問う。
- 3 沖縄・日本を取り巻く安全保障環境の変化への対応について
 - (1) 玉城知事は、県政運営方針で安全保障環境がより厳しさを増していると表明している。その要因・背景と対応を伺う。
 - (2) 玉城知事は、日米同盟・日米安保を認める立場である。このことから、安全保障環境の変化には、日米同盟で対応するほうがよいとのことか伺う。
 - (3) この時期に、玉城知事は県政運営方針で「沖縄の基地負担の軽減は米軍と自衛隊を併せて検討されることが必要で自衛隊の基地機能強化により沖縄が攻撃目標になるリスクを更に高める事態を生じさせてはならない」としている。自衛隊配備は抑止力で、専守防衛ではないか、玉城知事に伺う。
 - (4) 県内の市町村長の大半も安全保障環境の変化を危惧している。玉城知事がリードして市町村長らと沖縄の安全保障を考える会議を設置して対応すべきではないか。玉城知事に伺う。
 - (5) 与那国町議会が国にシェルターの建設を求めているが、沖縄県はどのように与那国町や国と連携しているのか伺う。
 - (6) 玉城知事は、不測の事態が生じないよう地域外交室を設置して独自の地域外交を展開するとのことだが、対象国と具体的な進め方について伺う。
 - (7) 玉城知事は基地問題で国連に行くことを考えているようだが、むしろ今、沖縄・日本の安全保障環境の変化を訴えたほうがよいと思う。国連で平和の維持を訴えることが抑止することにつながると思う。玉城知事の見解を問う。
- 4 沖縄県の基地の整理縮小について
 - (1) 普天間返還に伴う辺野古埋立事業については、国は地元の理解を得て県への行政手続で工事を進めているが、県は反対している。このままいくと普天間返還をはじめ嘉手納以南の返還にも影響が出るものと思う。2月2日から3日に九州議長会の正副議長で辺野古の現場と普天間飛行場の視察と説明を受けた。九州各県も問題解決に関心を寄せている。玉城知事に提言をしたい。九州知事会や全国知事会で辺野古や普天間を視察し、九州や全国で解決に向けて考える機会をつくったほうがよいと思う。玉城知事の見解を問

う。

- (2) 玉城知事の県政運営方針で、両政府に対し「当面は在日米軍専用施設面積の50%以下を目指す」とする具体的な数値目標の設定と実現を強く求めていくとのことですが、今進められている整理縮小も実現しない中で、さらにハードルを上げて要求することの意味・目的を玉城知事に伺う。

5 沖縄県差別のない社会づくり条例について

- (1) 目的に、社会全体で不当な差別の解消、不当な差別のない社会の形成とあるが、現在どのような不当な差別が問題になっているのか説明願う。
- (2) 不当な差別とは、差別的言動及び差別的取扱いとある。誰がどのようにして差別的言動や取扱いと決めるのか伺う。
- (3) 県の条例の目的からすると、県民の責務として、①不当な差別的言動をしないこと、②不当な差別的取扱いをしないこととなるべきと思うが、県民の責務について説明願う。
- (4) 第3節に性的指向または性自認を理由とする不当な差別に関する施策があるが、沖縄県内における性的指向または性自認を理由とする不当な差別の現状を説明願う。
- (5) 憲法で定める基本的人権・表現の自由権等の権利とこの条例の定めとの関係はどうなるか説明願う。